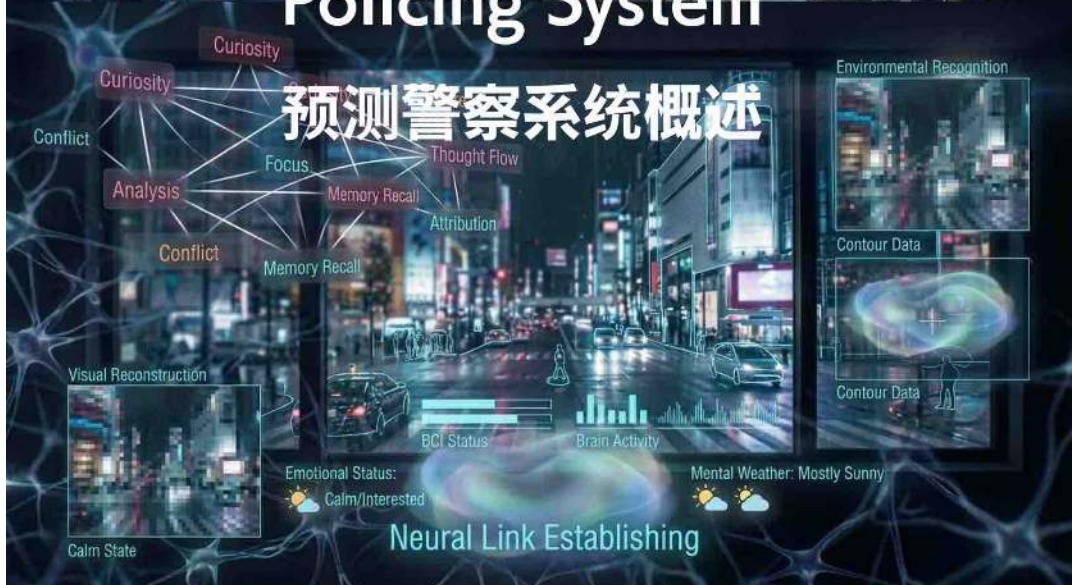




予測警察システムの概要紹介

500 文字版

目次

<u>予測警察システム①：考えただけで送信が阻止され、AI に調教・支配される時代の到来（未完成版）</u>	5
全体像と「予測」が実は支配であること	5
<u>予測警察システム②：人体ハッキングのメカニズム（未完成版）</u>	5
正しい人が弾圧され、身体症状まで監視される構造	5
<u>予測警察システム③：「磁性ナノ粒子」で脳や身体をコントロールする仕組み（未完成版）</u>	7
NANO-MIND、MENPs、昆虫・動物操作と事前指令のトリック	7
<u>予測警察システム④：健康被害の仕組みと「簡易対策」――国家テロによる市民迫害（未完成版）</u>	7
10 症状のメカニズム、日常対策、国家テロの歴史	7
<u>予測警察システム⑤：国家テロとイジメは同じ構造――加害組織の「見えない偽装」を読み解く（未完成版）</u>	8
見えない加害組織、報酬で動く普通の人、6 フェーズ	8
<u>予測警察システム⑥：モニタリングされる恐怖――なぜ「まともな人」が自殺や裏切りに追い込まれるのか（未完成版）</u>	9
自殺に追い込む感情監視、特殊手口、思考監視の危険	9
<u>予測警察システム⑦：「脳間通信」が生み出す話の通じない「支配者心理」とナノ粒子対策（未完成版）</u>	9
監視優位が共感を壊す心理、N3 技術、今日からできる防御	9
<u>予測警察システム⑧：電場でも人体を操るナノ粒子――完全監視が選挙を成立させなくして極右が支配する未来（未完成版）</u>	10
圧電性・電場応答性粒子、2V/m と 148V/m、監視下の選挙	10
<u>予測警察システム⑨：一般市民を恐怖に陥れる「ギャングストーキング」は「N3 兵士」の市街地戦？（未完成版）</u>	11
日常空間の包囲・威圧、治安ビジネス、見えない暴力	11
<u>予測警察システム⑩：脳間通信の技術開発の歴史と「加害者と被害者の 2 極化」の仕組み（未完成版）</u> ..	11

80 年の研究、加害者と被害者のナノ粒子の違い	11
<u>予測警察システム⑪：恐るべき見えない加害者との『コミュニケーション』方法——思考監視と身体攻撃が作る支配の構造（未完成版）</u>	<u>12</u>
思考と音・身体攻撃の同期、条件付け、密室化	12
<u>予測警察システム⑫：なぜ「正しいことをする人」が被害者になるのか？——戦争・テロ・不正選挙を製造する脳間通信ネットワーク（未完成版）</u>	<u>13</u>
正しい人が被害者になる理由と、選挙操作の構造	13
<u>予測警察システム⑬：ナノ粒子を利用した「見えない暴力」と、人類を二極化する「トランスヒューマニズム」（未完成版）</u>	<u>13</u>
酸化グラフェンと磁性ナノ粒子、優生学の歴史、無用者階級	13

予測警察システム①～⑬記事概要まとめ(500 文字版)

予測警察システム①：考えただけで送信が阻止され、AI に調教・支配される時代の到来（未完成版）

全体像と「予測」が実は支配であること

X でいいねやリツイートが消える、投稿時にエラーが出る、アカウントがロックされるといった妨害報告を手がかりに、予測警察システムの全体像を整理します。愛子さま関連の投稿でハートが消える例も挙げ、投稿妨害や発信妨害が身近に起きていることを示します。戦争反対やナフサ不足を指摘する人への集団リンチ、AV 産業や歴史修正で金銭報酬が事実を歪める構造、巨額広告費による同意の偽装にもふれます。中核は、考えた直後の数 100 ミリ秒以内に通信遮断や端末フリーズ、腹鳴や異臭などが起きる現象です。脳波検知、端末やルーターでのエッジ処理、AI による意図検知、物理的遮断、諦めさせる学習性無気力の五層で説明します。Palantir と ICE の例、外部の救急車や飛行機の音が物理的に即時不可能である点から、AI が事前に指令を出して思考と同期させているとみます。最後に、予測とは名ばかりで、反対や抵抗を未然に防ぐ支配システムだと位置づけます。

予測警察システム②：人体ハッキングのメカニズム（未完成版）

正しい人が弾圧され、身体症状まで監視される構造

正しいことを言う人ほど弾圧される背景として、国連報告者や ICC 裁判官への制裁、エプスタイン事件被害者への脅迫や嫌がらせを挙げます。被害者が「キチガイ」「嘘つき」とレッテルを貼られ、孤立させられていく流れを整理します。人体ハッキングでは、虫やカラス、つきまとい、運転中の眠気や目やに、視界不良、喉の苦しさ、動悸、異臭、筋肉痙攣、腹鳴、屁、腹痛などが起きるとします。これらが思考や言動とリンクし、工事音や救急車、非通知電話、スーパーでの客の増減など監視を意識させる形で現れます。耳栓をすると音が大きく

なるため、反応を見て調整していると考えます。身体は随意と不随意に分かれ、自動で動く部分を外部から操作されると、文書作成や訴訟準備を妨害されます。磁性ナノ粒子や磁場による制御、2026 年ベネズエラ侵攻での Ghost Murmur とされる遠隔探知、キューバ兵 32 名の不可解な死亡にもふれ、予測警察が軍事レベルへ拡大する可能性を示します。

予測警察システム③：「磁性ナノ粒子」で脳や身体をコントロールする仕組み（未完成版）

NANO-Mind、MENPs、昆虫・動物操作と事前指令のトリック

諜報機関による人間支配の歴史として MK ウルトラ計画や 731 部隊、エプスタイン・ファイルを挙げ、2026 年の公聴会でも文書破棄や墨消しが問題になったことを整理します。NANO-Mind は磁化ナノ粒子と磁場でマウスの食欲や母性行動を遠隔操作する技術で、手術なし・ワイヤレスで脳領域を制御できます。磁性ナノ粒子は食品やワクチン経由で体内に入り得るため、独裁政権が悪用すれば気づかれずに操作基盤を作れるとします。MENPs は磁場と電場を相互変換し、脳信号の読み取りと書き込みの双方向 BCI を可能にします。MPI で粒子の動きを監視でき、TMS のように磁場で痙攣を起こすことも可能です。スマートハウスやデジタルツインで電流・磁場を制御し、腹鳴、下痢、異臭、動悸、喉の苦しさを人工的に起こす経路を説明します。昆虫や犬猫の行動制御も研究レベルで可能とし、外部の異変が数百ミリ秒で起きるのは AI が事前に指令を出し、思考を同期の合図に使っているためだと整理します。ポケモン GO 型の報酬で周囲の人を動かす社会工学にもふれます。

予測警察システム④：健康被害の仕組みと「簡易対策」——国家テロによる市民迫害（未完成版）

10 症状のメカニズム、日常対策、国家テロの歴史

磁性ナノ粒子と磁場で腰痛、関節痛、視界不良、筋肉痙攣、皮膚の痒み、心臓発作、脳出血、便秘、睡眠障害、大腸癌が引き起こされ得る仕組みを整理します。腰痛は脊髄の痛み信号増幅や延髄の抑制機能、自律神経を操作します。関節痛は TRPV1 を刺激して炎症と軟骨破壊を進めます。視界不良は網膜や視覚野への介入、筋肉痙攣はカルシウムチャネルへの機械的刺激、痒みはマスト細胞からのヒスタミン放出で説明します。心臓発作は CaV1.2 や自律神経節叢、脳出血は血液脳関門の緩和と血管壁の弱体化、便秘は腸の蠕動抑制、睡眠障害はオレキシン神経への蓄積、大腸癌は活性酸素による DNA 損傷と慢性炎症で説明します。症状は混合型、随意主、不随意主に分けられます。対策は放射線の鉛遮蔽、マイクロ波の水吸収、運転中の眠気には停車、水タオル、ジェルパッド、首を 45 度傾ける、充電電池を首の後ろに

付けるなどを紹介します。南米の死の部隊、汚い戦争、死のキャラバンにもふれ、国家が国民を傷つける構造を考えます。

予測警察システム⑤：国家テロとイジメは同じ構造 ――加害組織の「見えない偽装」を読み解く（未完 成版）

見えない加害組織、報酬で動く普通の人、6 フェーズ

加害組織が見えない理由を、民間への外注、カルトや宗教への偽装、多層的な防火壁から整理します。TIA が議会で止められた直後に Palantir が CIA の In-Q-Tel 資金で設立され、ICE と契約して ImmigrationOS や ELITE を提供する構造を説明します。日本でも警視総監 OB が顧問を務める警備会社が辺野古反対派のリスト作成に関与した例を挙げます。普通の人に加害に加わるのは報酬のためで、イスラエルの懸賞金や監視ネットワーク、兵士の顔撮影ゲーム、関西生コン事件で右翼活動家が月 70 万円を受けた例を紹介します。CIA が犯罪者を手駒にし、罪を揉み消す見返りに利用する歴史にもふれます。組織は鬼滅の鬼と同じピラミッドで、頂点が犬笛を吹き、報酬と承認で末端を動かします。ナチスの分業と婉曲表現で罪悪感を消す設計を現代に重ねます。イジメは 4 層構造と組織的ターゲット化の 6 フェーズ、すなわち選定、監視、ストーキング、信用破壊、攻撃、継続的監視で進み、搾取の利益が加害を支えると整理します。

予測警察システム⑥：モニタリングされる恐怖——なぜ「まともな人」が自殺や裏切りに追い込まれるのか（未完成版）

自殺に追い込む感情監視、特殊手口、思考監視の危険

ギャングストーキングが自殺に追い込めるのは、感情や思考をリアルタイムで監視し、怯えや悲しみ、怒り、諦めの瞬間を狙って攻撃できるためだと説明します。工事音や救急車、暴走バイク、宅配のタイミングを監視し、耳栓で遮断すると音を大きくして逃げられないと感じさせる手口を整理します。虫や動物、無言電話で驚かせる方法、「敵が嫌がるから正しい」という論法が加害を正当化する危険性にもふれます。兵庫県の告発文書問題で公益通報者や追及した議員が死亡し、加害側が不起訴になった経過を挙げ、見せしめとして機能するとします。Palantir の反共産主義的価値観、イスラエル支持、被害者に選ばれるまともな人や内部通報者という構図を整理します。特殊手口として対向車ライトの眩しさを光源側と受け手側の二経路で説明し、ストーリーシアター、偽旗作戦、エコーチェンバーによる捏造被害者像と真犯人隠しを解説します。最後に、感情操作、完璧なガスライティング、弱点把握、先回りの支配、拷問設計という思考監視の五つの危険を示します。

予測警察システム⑦：「脳間通信」が生み出す話の通じない「支配者心理」とナノ粒子対策（未完成版）

監視優位が共感を壊す心理、N3 技術、今日からできる防御

脳間通信で相手の思考や感情を監視できると、不確実性が消えて交渉が不要になり、降参のタイミングを測って攻撃を続けるようになると説明します。権力感と万能感、脱人間化、ゼロサム思考、サディズムが重なり、共感想像の余地を失うことで低下します。道徳的免責、自己選抜、閉鎖環境、成功体験のフィードバックが支配者気質を強化します。技術面では DARPA の Silent Talk 計画、N3 プログラム、BrainSTORMS、磁電ナノトランスデューサーによる読み取りと書き込み、NHK クローズアップ現代で紹介された N3 にもふれます。対策は、吸入を減らす N95 マスク、空気清浄機、鼻腔洗浄、イヤホンやスマホの使用を 1 日 60 分・音量 60%・連続 60 分以内にする 3 つの 60 原則、寝室のデバイス管理、磁性ナノ

粒子や銀ナノ粒子の防護繊維、食物繊維と水分、運動、抗酸化物質、環境磁場源の把握、症状と通信障害の記録です。完全防御は難しく、知ることと記録することが最初の抵抗になると整理します。

予測警察システム⑧：電場でも人体を操るナノ粒子 ——完全監視が選挙を成立させなくして極右が支配 する未来（未完成版）

圧電性・電場応答性粒子、2V/m と 148V/m、監視下の選挙

ブログ公開後、簡易ファラデーケージ内で電場ゼロ・磁場ゼロにすると攻撃が減ったが、その後 2V/m の電場で腹鳴が起きるようになった体験を報告します。磁性ナノ粒子だけでなく、圧電性ナノ粒子は超音波で電気を発生して迷走神経を刺激し、電場応答性ナノ粒子は外部電場で直接電流を発生して腸の神経や平滑筋を刺激します。2V/m は末梢神経刺激の閾値付近で迷走神経反射を通じて腸を動かし、148V/m は平滑筋のカルシウムチャンネルや体内ナノ粒子を直接刺激して収縮を起こすと考えます。外出妨害時に水を含んだスポンジを腰に巻いて痛みが減った経験や、析出した粉末のようなものにもふれます。N3 兵士は相手の運動準備電位や情動を読み、先回りして動けるため、完全・即時・全域の監視下では通常選挙が成立しにくくなります。野党の思考を事前に把握して先回りし、エコーチェンバーで捏造野党像を拡散し、投票意欲を管理し、SNS 送信を妨害し、選挙結果を事前に知ること、極右が有利になると整理します。

予測警察システム⑨：一般市民を恐怖に陥れる「ギャングストーキング」は「N3 兵士」の市街地戦？ (未完成版)

日常空間の包囲・威圧、治安ビジネス、見えない暴力

加害側は電場、磁場、超音波、光など複数の操作チャンネルを持ち、N3 兵士が予測能力を日常空間で使うと考えます。バイク追跡では運動準備電位を読んで進路変更前に先回りし、複数兵士が脳間通信で連携して包囲します。護送船団では前衛、並走、後方、偽装救急車、対向車、上空ドローンが役割分担し、反撃や逃走の意図を読むとサイレンで威嚇して自主検閲を刷り込みます。スーパーやダイソーでは AI が周辺の人にミッションを送り、客が急に増えて付きまといや行列を作り、買い物が終わると潮が引くように減ります。工事音や宅配便、上空旋回や低空飛行も、思考に合わせて偶然を装う調教に使われます。監視と嫌がらせは治安ビジネスの口実になり、弾圧が反発を生み、反発が予算を正当化する循環を作ります。パレスチナの顔認証や監視、見せしめとしての日常嫌がらせにもふれます。皮膚の切り傷は酸化ストレス、電場による細胞膜破壊、無意識の搔破で説明し、尿便からのナノ粒子検出、金属シールドでは電場と磁場を区別する必要があると整理します。

予測警察システム⑩：脳間通信の技術開発の歴史と 「加害者と被害者の 2 極化」の仕組み（未完成版）

80 年の研究、加害者と被害者のナノ粒子の違い

脳間通信は妄想ではなく、冷戦期の MK ウルトラ計画やコッパーファーク計画から、DARPA の Silent Talk 計画、N3 プログラム、現在のナノ粒子双方向 BCI まで 80 年以上研究されてきた技術だと整理します。MK ウルトラは LSD や催眠術で精神操作を目指し、関連文書は 1973 年に破棄され、2026 年の公聴会でも墨消しが残ります。Silent Talk は発声前の脳信号を EEG で読み取り、声を出さずに通信する計画でした。N3 は手術なしで脳と機械を双方向につなぎ、BrainSTORMS の磁電ナノトランスデューサーが脳の電気信号を磁気信号に変え、外部ヘッドセットとやり取りします。N3 は完了と宣言されましたが、詳細は不明です。加害組織は諜報機関、司令塔、N3 兵士、傍観型加担者、傍観者、被害者のピラ

ミッド構造を持ちます。加害者同士は磁電ナノトランスデューサーで双方向に通信し、被害者は酸化鉄磁性ナノ粒子で一方向的に身体攻撃を受けます。通信と攻撃は別技術ではなく同じ技術の表裏で、勝ち組と負け組の二極化を支える基盤だと位置づけます。

予測警察システム⑪：恐るべき見えない加害者との『コミュニケーション』方法―思考監視と身体攻撃が作る支配の構造（未完成版）

思考と音・身体攻撃の同期、条件付け、密室化

加害者の正体がわからないのに、被害者だけが加害者のメッセージを感じ取れる理由を、イジメと同じ見えない設計から説明します。顔を見せずに脅すのは同意の偽装のためで、感情や思考を監視しながら、従うまで最も効果的な攻撃を続けます。音攻撃では、MENPs が脳活動を磁気信号に変換し、AI がリアルタイムで解読します。N3 兵士たちは脳間通信で被害者の思考を共有し、上空の飛行機、暴走バイク、救急車などに距離ごとの音の伝播時間を計算して先回り指令を出します。被害者が告発や反撃、逃走、助けを求めようと考えた瞬間に音が届くため、脳は特定の思考と不快な刺激を結びつけ、自主検閲や学習性無気力を生みます。電車やバスでは反復、視線、位置取り、ミラーリング、スマホや咳、降車の一致、突然の停車で監視を意識させます。身体ハッキングでは腹鳴、下痢、異臭を起こし、通信遮断でデジタルの密室を作ります。逃げ場がなくなると加害者は本性を現し、条件付けで自発的に自滅する選択をさせます。加害組織の表と裏、罪悪感を消す仕組みも整理します。

予測警察システム⑫：なぜ「正しいことをする人」が被害者になるのか？――戦争・テロ・不正選挙を製造する脳間通信ネットワーク（未完成版）

正しい人が被害者になる理由と、選挙操作の構造

道徳的正義に基づき、命を救うために告発する立場を示します。被害者は自分が狙われる理由がわからず、警察や行政、弁護士、マスコミに訴えても途中で裏切られ、無かったことにされます。背景には、思考を監視して先回りし、関係各所に圧力をかける脳内ネットワークがあると考えます。加害組織はカルトや美德に偽装し、日本会議や統一教会、キリスト教福音派など日常に溶け込んでいます。脳内通信のエコーチェンバーは言語を介さず思考そのものを共有するため、反論の余地がなくなります。リアルタイム監視で行動前に介入し、バイク便、救急、建設作業員などが日常に紛れて圧力をかけます。勝ち組になりたければ協力しろという報酬と共犯の鎖で加害者を増やし、脳間通信は証拠が残らない戦争製造兵器として軍産複合体に都合がよいとします。正しい人はブラックリストに載せられ、正義と悪が逆転します。戦争が止まらないのは予測警察が抵抗を未然に防ぐためです。不正選挙では選挙管理委員会や集票管理者を買収し、統計操作、AI 動画、脅迫、南米の跨国極右ネットワーク、ICC への制裁、日本の高市陣営の世論操作疑惑などを挙げます。知ること、記録すること、議論することが最初の防御だと整理します。

予測警察システム⑬：ナノ粒子を利用した「見えない暴力」と、人類を二極化する「トランスヒューマニズム」（未完成版）

酸化グラフェンと磁性ナノ粒子、優生学の歴史、無用者階級

酸化グラフェンは化学反応の場を提供する炭素系シートで磁気性質はなく、磁性ナノ粒子は鉄酸化物で磁場により遠隔操作できる粒子です。両者を組み合わせた磁性酸化グラフェンは化学結合能力と磁気操作能力を併せ持ち、肝臓、脾臓、肺に長期間蓄積します。磁性ナノ粒子も肝臓と脾臓に多く集まり、PEG 修飾で体内循環を長くできます。見えない暴力は、直接暴力、構造的暴力、文化的暴力に分けられ、ガスライティング、モラルハラスメント、ア

ルゴリズム差別、監視資本主義として高度化しています。思考や感情を監視されると、希望を持ち始めた瞬間や助けを求めようとした直前に攻撃され、自殺に追い込まれ得ます。優生思想はギルガメシュ叙事詩や旧約聖書の選民概念と混同されやすく、ゴルトンの優生学、アメリカの強制断種、ナチスの T4 作戦、大日本帝国の皇国史観と虐殺へつながります。戦後、優生学はトランスヒューマニズムとしてリブランディングされ、ハクスリー、冷凍保存、エクストロピアニズム、NBIC、カーツワイル、Neuralink へ続きます。意識や記憶の操作、電脳化サイボーグ兵士、HG ウェルズの二つの人類、ハラルの無用者階級、脳間通信による反論不能なファシズム集団、正しい人のブラックリスト化、戦争が止まらない構造を整理します。